

Color Gallery

化学教育におけるこれからの安全管理について 村上 雅彦

化学教育の実践には本質的に危険が潜在し、常に安全に対する配慮が求められる。そこで化学教育の安全を効率的に管理するために、まずEUの危険有害性分類・表示（Risk phrases, Safety phrases（R/Sフレーズ）と、その活用について紹介する。P112-115

図1 R/Sフレーズとハザード・シンボルの例。R/Sフレーズは、EUで制定された化学物質の分類番号である。“R1~68”で示されるRフレーズが危険性を、“S1~64”で示されるSフレーズ（安全勧告）が安全な取り扱い方を表し、一覧表から基本情報が迅速に得られる。



危険・有害性を伝えるラベル普及の必要性 — 現行法令とGHS — 城内 博

日本では化学品の危険・有害性を伝えるラベルについて正しく認識されないまま現在に至っている。2003年に出された国連勧告「化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）」と、日本における現行法令とGHSとの関係、さらに教育におけるGHSの意義について解説する。P120-123



図1 危険・有害性を表す絵表示の例。